

(別冊 1) 平成 28 年度関東 SPM 調査会議の調査内容等に係るアンケート集計結果

1 ガス状成分の分析について

(1) 平成 29 年度以降の方針について

分析を実施する予定である。		分析を実施しない予定である (以前から分析していない場合も含む)。	検討中
フィルター パック法	デニューダー法		
2	0	14	1

＜主な意見＞

・現状のように参加自治体が少ない状態では、共同調査としての意味が乏しい。今まで得られた結果も解釈が苦しいものが多いように思われる。また、夏季のコア期間のみではデータが不十分であるが、2 週間に延長するとか、冬季も行うことにすると、さらに参加自治体が減ることが予想されるので、むしろ、やめた方が賢明だと思われる。(千葉県)

(2) 実施予定ありの場合、分析対象とする季節

- ・春、夏、秋、冬(群馬県)
- ・夏(関東 SPM 調査会議の調査計画に合わせて実施)(東京都)

＜主な意見＞

・例年、夏季以外は 2～3 日連続採取、夏季は関東 SPM 調査に合わせて 1 日採取としており、来年度も同様にする方向で考えている。ただし、夏季における採取間隔については関東 SPM 調査の状況をふまえて対応したい。現状では必ずしも 1 日採取が必要だとは考えていない。(群馬県)

2 WSOC の分析について

(1) 平成 29 年度の分析について

平成 28 年度と同様の分析方法 を実施する予定である。	平成 28 年度 4 月の環境省マニ ュアル改訂をふまえて分析方 法を変更する。	分析を実施しない予定である (以前から分析していない場合も含む)。
9	2	6

＜主な変更内容＞(自前で分析する機関の内、変更する内容)

- ・マニュアル改訂前後での測定値を検証し、年度内には結論を出す予定。測定値に差がなければ、現在の方法にて継続する。(川崎市)

現在の方法	フィルター 1/2 抽出水量 10mL
変更案	フィルター 1/2 抽出水量 6mL

(2) 委託分析を実施している場合、平成 29 年度実施分の変更の有無

変更なし	変更あり
3	1

<主な変更内容>

・下表のとおり（千葉市）

変更前	水溶性有機炭素成分測定方法（暫定法）による方法で分析を委託。 （今年度については、抽出液 20mL で抽出）
変更後	改訂された水溶性有機炭素成分測定方法による方法で分析を委託する。 抽出については、原則として少ない抽出液量（500 μ L～3mL）による方法で委託する。ただし、合同調査においては統一した分析方法を採用することが望ましいという意見も出ていることから、他の自治体が採用された分析方法により、柔軟に対応を行う。

(別冊2) 平成28年度 浮遊粒子状物質調査会議の調査内容等に係るアンケート結果一覧

自治体名		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
ガス状成分の分析について	平成29年度以降の方針 (実施予定の有無)	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。	フィルターバック法で分析予定である。	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。	フィルターバック法で分析予定である。	分析を実施しない予定である。
	上記の理由・コメント		これまでにガス状成分の分析を実施しておらず今後も実施する予定はない。			現状のように参加自治体が少ない状態では、共同調査としての意味が乏しい。今まで得られた結果も解釈が苦しいものが多いように思われる。また、夏季のコア期間のみではデータが不十分であるが、2週間に延長するとか、冬季も行うことにすると、さらに参加自治体が減ることが予想されるので、むしろ、やめた方が賢明だと思われる。		
	実施予定ありの場合、分析対象とする季節			春、夏、秋、冬			夏	
	上記の理由・コメント			例年、夏季以外は2～3日連続採取、夏季は関東SPM調査に合わせて1日採取としており、来年度も同様にする方向で考えている。ただし、夏季における採取間隔については関東SPM調査の状況をふまえ対応したい。現状では必ずしも1日採取が必要だとは考えていない。			例年通り、「夏季」と回答しましたが、関東SPM調査会議の調査計画に合わせて実施します。	
WSOCの分析について【該当自治体のみ回答】	平成29年度の分析について	平成28年度と同様の分析方法を実施する予定である。	平成28年度と同様の分析方法を実施する予定である。	平成28年度と同様の分析方法で実施する予定である。	(実施予定なし)	平成28年度と同様の分析方法で実施する予定である。	(実施予定なし)	平成28年度4月の環境省マニュアル改訂をふまえて分析方法を変更する。
	分析方法に変更がある場合、その変更内容または上記のコメント等							平成28年度内に分析方法を検討し、必要があれば変更する予定。
	委託分析を実施している場合、平成29年度実施分の変更の有無							
	上記の変更がある場合、その変更内容または上記のコメント等							

(別冊2) 平成28年度 浮遊粒子状物質調査会議の調査内容等に係るアンケート結果一覧

自治体名		山梨県	長野県	静岡県	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市
ガス状成分の分析について	平成29年度以降の方針 (実施予定の有無)	検討中。	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。
	上記の理由・コメント			環境省のマニュアルに沿った器材を保有していない。また、成分分析の一環としてガス状成分を実施する予定も無い。				
	実施予定ありの場合、分析対象とする季節							
	上記の理由・コメント							
WSOCの分析について【該当自治体のみ回答】	平成29年度の分析について	平成28年度と同様の分析方法で実施する予定である。	(実施予定なし)	(実施予定なし)	(実施予定なし)	平成28年度4月の環境省マニュアル改訂をふまえて分析方法を変更する。	(実施予定なし)	平成28年度と同様の分析方法で実施する予定である。
	分析方法に変更がある場合、その変更内容または上記のコメント等							マニュアル改訂前後での測定値を検証し、年度内には結論を出す予定。測定値に差がなければ、現在の方法にて継続する。 ・現在の方法 フィルター 1/2 抽出水量 10mL ・変更案 フィルター 1/2 抽出水量 6mL
	委託分析を実施している場合、平成29年度実施分の変更の有無					変更あり		
	上記の変更がある場合、その変更内容または上記のコメント等					<変更前> 水溶性有機炭素成分測定方法(暫定法)による方法で分析を委託。 (今年度については、抽出液 20mLで抽出) <変更後> 改訂された水溶性有機炭素成分測定方法による方法で分析を委託する。 抽出については、原則として少ない抽出液量(500μL～3mL)による方法で委託する。ただし、合同調査においては統一した分析方法を採用することが望ましいという意見も出ていることから、他の自治体が採用された分析方法により、柔軟に対応を行う。		

(別冊2) 平成28年度 浮遊粒子状物質調査会議の調査内容等に係るアンケート結果一覧

自治体名		相模原市	静岡市	浜松市
ガス状成分の分析について	平成29年度以降の方針 (実施予定の有無)	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。	分析を実施しない予定である。
	上記の理由・コメント			
	実施予定ありの場合、分析対象とする季節			
	上記の理由・コメント			
WSOCの分析について【該当自治体のみ回答】	平成29年度の分析について	平成28年度と同様の分析方法で実施する予定である。	平成28年度と同様の分析方法で実施する予定である。	平成28年度と同様の分析方法で実施する予定である。
	分析方法に変更がある場合、その変更内容または上記のコメント等			
	委託分析を実施している場合、平成29年度実施分の変更の有無	変更なし	変更なし	変更なし
	上記の変更がある場合、その変更内容または上記のコメント等		環境省が示している方法で分析すること。	

(別冊3) 平成28年度 関東SPM調査会議の調査内容等に係るアンケート調査票【第3回】

第3回調査会議で議論すべき事項について、各自治体へ照会いたします。

該当するものについて☑をする等し、該当するものがない場合は、自由欄にご記入ください。

また、回答は行政・研究側相談の上、自治体単位でお願いいたします。

自治体名 _____

1. ガス状成分の分析について

1) 平成29年度以降の方針についてご意見を伺います。理由またはコメントがありましたら、自由記載欄にご記入ください。なお、継続する場合は、従前どおり実施可能な自治体のみ実施することを想定しています。

- ☐ 分析を実施する予定である。(下欄の方法に☑)
☐ フィルターパック法 ☐ デニューダー法
☐ 分析を実施しない予定である(以前から分析していない場合も含む)。
☐ 検討中。

2) 【1. 1) で「分析を実施する予定である。」と回答した場合のみ回答】

四季の内、分析対象とする季節を御記入ください。

- ☐ 春季、 ☐ 夏季、 ☐ 秋季、 ☐ 冬季

次ページへ続く→

2. WSOC の分析について 【該当自治体のみ回答】

1) 平成 29 年度の分析について

- ☐ 平成 28 年度と同様の分析方法を実施する予定である。
- ☐ 平成 28 年度 4 月の環境省マニュアル改訂をふまえて分析方法を変更する。
(変更内容を下欄へ具体的に記入してください。)

変更前	変更後

2) 【委託分析を実施している場合のみ回答】

平成 29 年度実施分から委託する分析方法について

- ☐ 変更なし
- ☐ 変更あり (変更内容を下欄へ具体的に記入してください。)

変更前	変更後

以上、お忙しい中ご協力の程、ありがとうございました。